

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録

会議名	令和2年度 第1回 大和市子ども読書活動推進会議
開催日時	令和2年7月 20 日(月) 書面開催
開催場所	書面開催
参加委員	<p><推進会議委員></p> <p>伏見 暢子、今宮 智子、高橋 光江、矢野 諭、橋爪 ゆき、古川 恵子、本間 沙緒理、小林 美穂、阿部 きふゆ、椿 伊智郎、五十嵐 恵美、松村 佐和子、小林 寿子</p> <p>(順不同・敬称略)</p>
公開非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
審議又は検討経過及び結果	<p>Ⅰ 議事</p> <p>(1) 令和元年度こども読書わくわくプラン実施計画の進捗点検について 点検結果一覧表の「2次点検(案)」欄及び、「子ども読書活動推進会議の意見(案)」欄の表記内容に対し、意見を求めた。</p> <p>○【施策番号 2,3,17】について 委:指定管理者となって間が無いという背景もあるが、生涯学習センターのこども読書わくわくプランへの理解が不足しているように思う。子どもたちが広く深い本の世界とつながるためには身近にある学習センターの力がとても大切であり、共に歩めるようにしていきたい。 学習センターは“家での読書”や“家読”をどのように捉えているのか。読書推進という割には体験学習が主だっている。また、こども読書=絵本とイメージされているのかもしれない。</p> <p>○【施策番号 7】について 委:ボランティア養成講座終了後、ボランティア活動の参加に繋がっているのか。 委:今後も新型コロナウイルス感染拡大防止に努める必要があると考えられるので、その点を配慮した文言が入った方がよい。</p> <p>○【施策番号 9】について 委:ボランティア育成の為の講座の実施をお願いしたい。</p> <p>○【施策番号 12】について 委:担当各部署の連携・情報共有が進展している。しかし、「学校司書のスキルアップ」という表現はふさわしくないように感じたため、「担当部署の連携・情報共有は」としてはどうか。 委:司書としての知識を深めつつ、経験を生かしていただきたい。</p>

○【施策番号 16】について

委: 渋谷も実施回数が大きく減少しているとあるが、46 回もの実施があっても、減少と表現すべきなのか。

委: 評価 B はやむを得ない。回数の減少もあり、実施時にも子どもの姿が見受けられない。

○【施策番号 18】について

委: 地域文庫の活動支援について、コミセンや児童館との連携を深めてほしい。団体貸出の案内を通知するだけでは情報の一方通行に終わってしまう。具体的な実施計画を立案できるような取組を期待する。

委: 評価 B となっているため、今後積極的な取組をお願いしたい。子どもたちの読書活動の充実には地域の身近なところに読書活動の拠点があることはとても大切なことである。地域に根差した読書拠点は、どこにどんな団体があるのかよく知られていない。もっとアピールをお願いしたい。読書活動の充実のためには、新鮮で魅力的な本が必要となる。書籍購入等の支援の検討をお願いしたい。

○【施策番号 18,23】について

委: 地域文庫自体が少なく、文庫の支援はもとよりだが、児童クラブの需要が年々増加傾向にある。しかし、低学年の児童は付き添いなしで地区外に行くことは禁止されており、行きたくてもおはなし会になかなか行けないという声も聞こえてくる。児童クラブへのボランティア派遣等の積極的な援助がほしい。

○【施策番号 20】について

委: 本の紹介に一言を添えた季節感のある展示をお願いしたい。

○【施策番号 29,31】について

委: 小・中学校においては活動が充実し成果を上げていると思われる。今後、高校への働き掛けも期待する。

○【施策番号 32】について

委: 引き続き「意識を高める学習」として重要。図書館の利用につながることを期待する。

○【施策番号 35】について

委: 関連講座の実施回数を増やしたことで評価 B から評価 A となったのだろうか。人を集めるのが難しい世情では評価ポイントが変更となることも考えられる。

○【施策番号 36】について

委: 実施の情報を広げ、より多くの子どもたちが参加できるようになることを期待する。

○【施策番号 46】について

委：コロナ感染の影響下においては特にホームページの役割が重要となるのではないかと思います。在宅しながら情報を得たり、イベントに参加出来たり、特に家読をすすめる良い機会だと思うのでホームページ、SNS 等の充実を期待する。

委：図書館ホームページの子ども向け情報の充実とあるが、評価 C となっている。具体的にどのような方向で進めていこうとしているのかが資料からだと見えにくいのでどのように意見を述べてよいのかとも思うが、幼児児童向けにこんなことをやっているといった情報発信はしているように見えるが、どうなのだろうか。ホームページを活用できていないということだろうか。

以上

注（委：委員）